

自衛隊制度説明会を開催

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木3陸佐）は8月6日（土）～8月11日（木）の間の3日間、担当する横浜市内の3箇所で開催する自衛隊制度説明会と自衛隊制度説明会を実施した。

説明会には、ダイレクトメールやチラシ配布・学校でのポスター掲示・SNSを見て来た人など、保護者を含む60名の方々が参加した。

高等工科大学校制度説明会では現役の高等工科大学の生徒とその保護者の支援を受け、学校での生活や勉強についてのアドバイスの他に保護者の目線からの学校説明なども行われ、説明会に参加した対象者からだけでなく保護者からも積極的に質問があった。

また、自衛隊制度説明会では現役の防衛大学校・防衛医科大学校看護学科の学生、航空管制官から支援をうけて種目別（分野別）に説明を行い、パンフレットではわからない学校での生活や受験勉強のやり方の説明もあり、説明会参加者はメモをとりながら話に聞き入っていた。

説明会終了後にも現役の学生や広報官が個別対応で具体的なアドバイスをするなど、来場者に寄り添った対応でしっかりとサポートしていた。

説明を聞き終えた人からは「自衛隊のことがよくわかった」「受験の参考になって良かった」などの感想があった。

上大岡募集案内所では「あらゆる場を活用して募集対象者に自衛隊を理解してもらい、一人でも多くの受験者確保につなげていきたい」としている。



職業としての自衛官

自衛隊神奈川地方協力本部の横須賀地域事務所（所長 有働洋平3等海佐）は、海上自衛隊第2術科学校と航空自衛隊第1高射群第2高射隊で、高校生に広く自衛隊の組織や文化を知ってもらうためにインターンシップを実施した。

参加学生には自衛隊でしかできないような体験を提供し、その結果口コミが広がり、友人・先輩への紹介につながり、惹いては自衛隊への入隊へとつながればと考えている。8月2日の第2術科学校では、実際に自衛官が訓練で使用するシステムでの体験が行われ、学生は終始好奇心に満ちた様子で感想や質問を隊員に投げかけていた。また8月4日の第2高射隊では『地对空誘導弾（PAC-3）』が展示され「かっこいい。実物は大きい！」など驚きを隠せない様子だった。参加した学生からは「はじめて自衛隊の基地内を見学できてうれしい」「印象が変わった」などの嬉しい感想が多数聞かれたのが印象的だった。

横須賀地域事務所は「インターンシップはもとより総合学習や様々な広報活動を生かし、学生に『職業としての自衛官』という意識を早くから持つてもらえるよう努めていきたい」としている。



「休暇を利用し来所」 帰郷広報



8月8日（月）、自衛隊神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 大柿2陸尉）に今年度、航空自衛隊へ入隊した綿貫1士が夏季休暇を活用して来所してくれた。

綿貫1士は、2年ほど前に陸上自衛隊に合格していたが、民間企業を選択していた。しかし、民間企業で働くうちに自衛隊の魅力を再認識し本年度、航空自衛隊へ入隊した。

現在、新入隊員教育を修了し航空自衛隊芦屋基地（福岡県遠賀郡芦屋町）において職種教育を受けている。

久しぶりに来所してくれた姿には、どこか自信が感じられ成長が見られる。

まだまだ、これからの成長が期待できる楽しみな隊員であり、立派な自衛官になって任務に邁進してほしい。

横浜中央募集案内所は「今後も入隊した募集対象者との繋がりを大切にして隊員の成長を確認するとともに、出身校等へのコウに協力を頂き、更により良い募集環境構築に努める」としている。